

# 尾久中央地区 まちづくりニュース



令和5年2月

## 令和4年度防災まちづくり協議会の開催結果

尾久中央地区防災まちづくり協議会（以下「協議会」）では、「地域や防災スポットを知る」「活動に関わる人・協力者を集める」「情報を周知する」の3点を令和4年度の活動テーマに掲げ、現在、防災マップの更新に向けて、協議会活動を行っています。

令和4年度 第2回総会では、地区の安全状況を確認するためにまち歩きを実施し、第3回総会では、まち歩きの結果を踏まえた「防災マップ」の掲載内容について意見交換を行いました。

### ● 令和4年度 第2回、第3回総会の開催報告

第2回総会（まち歩き）  
令和4年10月8日（土）開催

#### 【まち歩き チェック項目】

##### ○防災上 危険な場所、モノ

- ・狭い道路や行き止まり道路
- ・古い木造の住宅が密集している場所
- ・交通安全上危険な場所 など

##### ○災害時に役立つ場所、モノ

- ・避難場所となる公園、空き地
- ・防災設備
- ・セットバックにより道路が拡幅された場所 など



まち歩きの結果は、2ページへ

第3回総会  
令和4年12月13日（火）開催

#### 【主な議題】

##### ○まち歩きの振り返り

##### ○防災マップ（構成案）の確認

- ・マップに掲載する内容や構成について意見交換を行いました。

当日の様子



意見交換の結果は、3ページへ

#### 【お問い合わせ先】

荒川区 防災都市づくり部 住まい街づくり課  
防災街づくり係（区役所北庁舎2階⑫窓口）  
担当：青天目、高梨

電話：03-3802-4319（直通）

これまでの  
まちづくりニュースは、  
区のホームページで  
見るができます。



密集事業 荒川区 検索

# 令和4年度 第2回総会（まち歩き）の結果概要

まち歩きでは、協議会員以外の方も含めて19名の方にご参加いただきました。当日は3班に分かれ、それぞれ、西尾久二丁目、東尾久四丁目、東尾久五丁目を中心に歩きました。

曲がり角の見通しが悪く、危険



車で通り抜けづらい



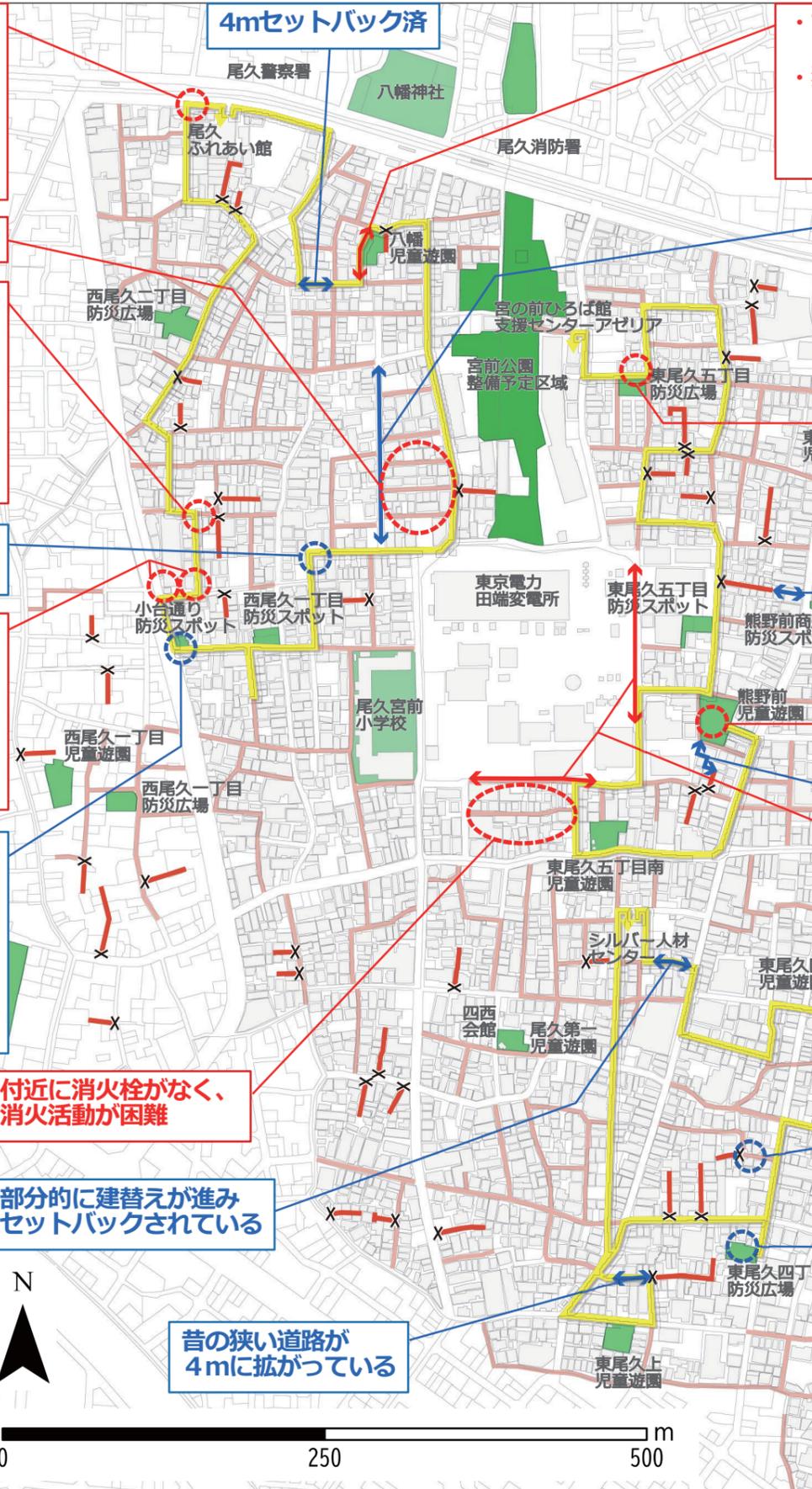
隅切り部分に電柱があり、車は曲がれない

角地がセットバックされ通りやすくなった

曲がり角の見通しが悪く、危険



利用者が多く、ベンチを増やせるとよい



古い樹木が道路にはみ出て植わっている  
狭くて車は通れない



通行しやすい路面標示



隅切り部分に電柱があり、車は曲がれない



通り抜け可能

マンホールはあるがトイレの備蓄がない  
かまどベンチの使い方(金具の取り外し方等)の確認が必要

通り抜け可能

通学路でもあり、塀の倒壊が心配



管理が行き届いた公園

大型の街頭消火器がある



防火設備をもっと充実させたい



## 参加者からの意見（抜粋）

### ＜防災上、危険な場所、モノ＞

- ・プランターや樹木、電柱などが道路にはみ出ており、通行の妨げになっている箇所がある。
- ・細街路では、車よりも自転車の方が怖い。特に電動自転車は加速が早いため、交差点で急に飛び出されると、非常に危険である。
- ・全体的に、主要生活道路以外の道路は、現状ほとんど4m未満の二項道路であり、引き続き細街路の整備が必要。また、老朽木造住宅も未だ多くみられる。

### ＜災害時に役立つ場所、モノ＞

- ・角地がセットバックし、見通しがよく、楽に通れるようになった箇所がある。
- ・地区内に消防車が進入できない行き止まり道路があり、大型消火器等が設置されていた。
- ・行き止まり道路の中には、突き当たりの1軒か2軒が道路になれば、その先に通り抜けられる箇所が何か所かあった。持ち主が売却して建売住宅になってしまう前に区に情報提供して、土地を買えるとよい。

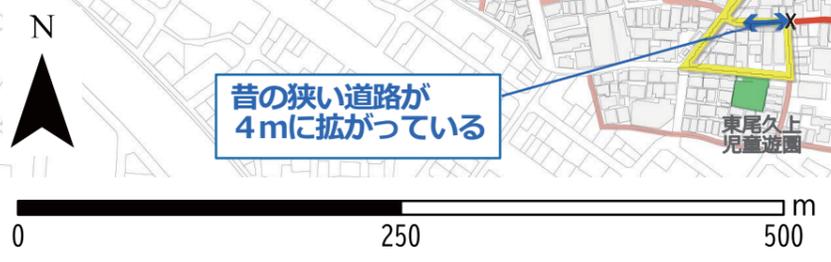
### ＜その他＞

- ・防災スポットのかまどベンチ等の設備の使い方を知りたい。
- ・かまどベンチは使用时、ボルトを外す必要がある。その際使用する工具や、マンホールトイレに被せるテント等、必要な備品が尾久小学校にまとめて保管されており、非常時、すぐに使用できるようにしておく必要がある。



まち歩きの様子

凡 例	
	防災上、危険な場所、モノ
	災害時に役立つ場所、モノ
	狭い道路 (4m未満)
	行き止まり道路
	まち歩きルート



# 令和4年度 第3回総会の結果概要

令和4年12月に開催された、令和4年度第3回総会（通算38回）では、14名の方にご参加いただきました。

今回は、まち歩きの結果等を踏まえた『防災マップ（構成案）』を基に、マップの掲載内容や構成について、意見交換を行いました。

## ▼防災マップ（構成案）



裏面を新たに作成し、町会ごとの避難先や防災設備に関する情報等、災害時に役立つ情報を充実させていきます！

## ●参加者からの意見（抜粋）

### <防災マップ 表面>

- マップを見て、避難場所を確認できることが最も重要である。
- マップ上の場所が分かりやすいよう、通り名を追加してほしい。
- 一時避難場所→広域避難場所→一次避難所 という避難の流れが、まだあまり住民に理解されていないのではないかと。
- 行き止まり道路等の危険な道路だけでなく、安全な道路、災害時でも利用できそうな道路の情報があると良い。

### <防災マップ 裏面>

- 避難場所や防災スポット等にある防災設備一覧は、情報として、あるとありがたい。
- 所属する町会によって避難先の割り当てが異なるため、裏面に町会別の避難場所の情報があると良い。

# 東京都が「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」を公表

令和4年9月、東京都が「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」を公表しました。

この調査は概ね5年ごとに東京都が行うもので、都内の市街化区域の5,192町丁目を対象に、建物倒壊危険度、火災危険度、総合危険度の5段階の相対評価と、地震による危険性の度合い「危険量」が示されました。

表 前回（第8回・平成30年2月公表）と今回調査結果の比較

		建物倒壊危険度		火災危険度		総合危険度	
		第8回	第9回	第8回	第9回	第8回	第9回
東尾久四丁目	ランク	4	4	4	5	4	4
	危険量	10.95	8.48	7.62	6.10	1.94	2.76
東尾久五丁目	ランク	4	4	4	4	4	4
	危険量	8.89	6.75	4.65	2.44	2.07	1.78
西尾久一丁目	ランク	4	4	4	4	4	4
	危険量	11.06	8.41	4.72	2.28	1.84	2.05
西尾久二丁目	ランク	5	5	4	5	5	5
	危険量	13.75	10.34	9.43	8.29	3.70	4.06

## ▼危険度のランキング



危険量について、算定方法の変更により「総合危険度」は増加していますが、「建物倒壊危険度」及び「火災危険度」は減少しており、これまでの取り組みの効果が現れていると言えます。

※地震に関する地域危険度測定調査（第9回）（令和4年9月公表）（東京都）をもとに作成